



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 セーレン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 業務統括本部長 (氏名) 勝木 知文 TEL 0776-35-2111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	118,520	14.1	13,572	36.1	14,502	21.2	10,697	22.7
2024年3月期第3四半期	103,864	6.7	9,971	△0.5	11,965	△5.5	8,719	△6.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 10,794百万円(△33.7%) 2024年3月期第3四半期 16,290百万円(△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	187.90	182.79
2024年3月期第3四半期	162.66	139.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	190,872	137,438	71.5	2,313.00
2024年3月期	187,458	124,689	66.0	2,234.88

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 136,497百万円 2024年3月期 123,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	23.00	—	30.00	53.00
2025年3月期		30.00			
2025年3月期(予想)				38.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	12.7	17,400	23.7	19,300	19.0	13,900	14.3	242.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	64,633,646株	2024年3月期	64,633,646株
2025年3月期3Q	5,620,409株	2024年3月期	9,309,939株
2025年3月期3Q	56,931,202株	2024年3月期3Q	53,607,199株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となったものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第3四半期連結業績は、売上高1,185億20百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益135億72百万円（同36.1%増）、経常利益145億2百万円（同21.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益106億97百万円（同22.7%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期として過去最高となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業は、国内自動車メーカーの生産停止の影響を受け、受注が減少しました。高付加価値商品が伸張するなど商品構成の変化はあったものの、カーボンニュートラル実現に向けて導入したバイオマスボイラーの償却費が影響し、減収・減益となりました。

海外事業（2024年1～9月）では、北米及び東南アジアにおいて、ファブリック及び合皮によるカーシート表皮、並びにエアバッグの売上が増加しました。また、各拠点における品質改善や経費削減活動が功を奏し、増収・増益となりました。

以上、海外事業の拡大により、車輛資材事業としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は819億59百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益106億59百万円（同39.7%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

アウトドアを含む海外向けアウター素材加工やインナーアパレルが好調に推移しました。KBセーレン(株)においては、不採算商品の販売縮小により売上は減少したものの、販売価格の見直しにより増益となりました。その結果、ハイファッション事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は158億50百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益12億32百万円（同40.1%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

モバイル端末向け新規商材及び車載モニター用の商材が順調に推移しましたが、ロケット打ち上げ計画変更に伴う納入延期の影響により、人工衛星の売上・利益が減少しました。

その他、KBセーレン(株)においては、データセンター向けHDDワイピングクロス「ザヴィーナ®」の需要が回復し、セーレンKST(株)においてはシリコンウェーハの厚膜加工が順調に推移しました。その結果、エレクトロニクス事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は78億60百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は13億72百万円（同47.8%増）となりました。

(環境・生活資材事業)

病院・介護施設向けベッド商材の売上が順調に推移したものの、高付加価値商材が伸び悩みました。KBセーレン(株)においては、ティーバッグ向け「ベルカップル®」の需要が回復したものの、民生資材が一部客先の在庫調整の影響を受け、伸び悩みました。その結果、環境・生活資材事業全体では増収・減益となりました。

当事業の売上高は72億69百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は6億76百万円（同9.0%減）となりました。

（メディカル事業）

化粧品および人工血管基材が順調に推移したものの、衛生ケミカル製品の売上・利益が減少しました。KBセーレン(株)においては、貼付材の売上が増加した一方、逆浸透膜スパーサー向け「ベルカップル®」と絆創膏用途の「エスパンシオーネ®」が一部客先の在庫調整の影響を受けました。その結果、メディカル事業全体としては減収・減益となりました。

当事業の売上高は50億33百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は5億43百万円（同13.8%減）となりました。

（その他の事業）

（株）ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事(株)の保険代理業は堅調に推移しました。

当事業の売上高は5億47百万円（前年同期比17.4%減）、営業利益は4億円（同15.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して34億13百万円増加の1,908億72百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産や有価証券が増加し、前連結会計年度末と比較して31億23百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産が減少した一方で投資有価証券の取得があったことにより、前連結会計年度末と比較して2億90百万円増加しました。負債の部は、新株予約権付社債の転換などにより、93億35百万円減少し、534億33百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加のほか、新株予約権付社債の転換に自己株式を交付したことなどにより、全体で127億49百万円増加し、1,374億38百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は369億53百万円となり、前連結会計年度末より5億92百万円減少しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、145億61百万円の収入（前年同期は107億21百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益145億43百万円、減価償却費44億59百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、88億70百万円の支出（前年同期は46億44百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の取得による支出71億22百万円などによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、63億8百万円の支出（前年同期は44億49百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出47億67百万円や配当金の支払額34億54百万円などがあったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月13日に公表しました通期連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,612	42,493
受取手形、売掛金及び契約資産	39,273	40,613
有価証券	3,317	5,273
商品及び製品	14,835	14,709
仕掛品	4,316	5,160
原材料及び貯蔵品	7,472	7,465
その他	4,268	4,502
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	117,083	120,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,026	25,268
機械装置及び運搬具（純額）	13,858	14,161
工具、器具及び備品（純額）	545	798
土地	13,048	13,024
建設仮勘定	1,855	1,457
有形固定資産合計	55,334	54,711
無形固定資産		
のれん	477	358
その他	3,019	2,958
無形固定資産合計	3,497	3,317
投資その他の資産		
その他	11,650	12,742
貸倒引当金	△106	△104
投資その他の資産合計	11,544	12,637
固定資産合計	70,375	70,665
資産合計	187,458	190,872
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,676	22,177
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	211
短期借入金	2,061	4,906
未払法人税等	2,807	2,132
賞与引当金	1,705	712
その他	9,425	8,241
流動負債合計	36,676	38,381
固定負債		
新株予約権付社債	10,322	—
長期借入金	6,517	5,703
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	—	175
退職給付に係る負債	6,406	6,354
その他	2,726	2,698
固定負債合計	26,092	15,051
負債合計	62,769	53,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	18,032	19,973
利益剰余金	85,359	92,601
自己株式	△13,223	△9,577
株主資本合計	107,688	120,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,288	4,223
為替換算調整勘定	11,405	11,542
退職給付に係る調整累計額	259	214
その他の包括利益累計額合計	15,953	15,980
新株予約権	502	465
非支配株主持分	544	475
純資産合計	124,689	137,438
負債純資産合計	187,458	190,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	103,864	118,520
売上原価	75,002	85,559
売上総利益	28,862	32,961
販売費及び一般管理費	18,890	19,389
営業利益	9,971	13,572
営業外収益		
受取利息	537	819
受取配当金	164	247
為替差益	872	—
補助金収入	419	249
その他	102	138
営業外収益合計	2,095	1,455
営業外費用		
支払利息	19	208
有価証券評価損	38	246
為替差損	—	46
その他	44	24
営業外費用合計	101	525
経常利益	11,965	14,502
特別利益		
固定資産売却益	26	55
特別利益合計	26	55
特別損失		
固定資産処分損	22	6
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	22	14
税金等調整前四半期純利益	11,969	14,543
法人税等	3,209	3,791
四半期純利益	8,759	10,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,719	10,697

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	8,759	10,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	573	△65
為替換算調整勘定	6,972	153
退職給付に係る調整額	△15	△45
その他の包括利益合計	7,530	42
四半期包括利益	16,290	10,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,213	10,723
非支配株主に係る四半期包括利益	77	70

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,969	14,543
減価償却費	3,851	4,459
固定資産処分損益 (△は益)	△3	△48
投資有価証券評価損	—	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△675	△993
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	△116
受取利息及び受取配当金	△701	△1,067
支払利息	19	208
為替差損益 (△は益)	△1,985	340
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,122	△1,199
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,417	△1,113
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,599	1,527
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△69	169
その他	△560	1,490
小計	13,808	18,203
利息及び配当金の受取額	629	1,011
利息の支払額	9	△234
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,726	△4,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,721	14,561
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,948	△3,991
有形固定資産の売却による収入	31	130
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,681	△7,122
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	800	1,600
定期預金の純増減額 (△は増加)	193	526
その他	△40	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,644	△8,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,289	△1,769
自己株式の取得による支出	△648	△4,767
配当金の支払額	△2,466	△3,454
非支配株主への配当金の支払額	△7	△9
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△107
その他	△37	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,449	△6,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,892	25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,520	△592
現金及び現金同等物の期首残高	34,141	37,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,662	36,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債の転換により、自己株式が5,394,478株減少し、ストック・オプションの権利行使により、自己株式が29,000株減少しております。また、2024年6月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式86,000株の処分を行っております。

さらに、2023年11月8日開催の取締役会決議に基づき、266,900株の自己株式の取得を行っております。加えて、2024年8月8日の取締役会決議に基づき、1,552,800株の自己株式の取得を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において単元未満株式の買取りと併せて自己株式が3,645百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式が9,577百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メデイ カル	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	68,183	15,328	7,050	7,117	5,522	103,202	264	103,466	—	103,466
その他の収益	—	—	—	—	—	—	398	398	—	398
外部顧客への 売上高	68,183	15,328	7,050	7,117	5,522	103,202	662	103,864	—	103,864
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	94	94	31	8	228	463	691	△691	—
計	68,183	15,423	7,144	7,149	5,530	103,430	1,125	104,556	△691	103,864
セグメント利益	7,628	879	928	743	630	10,810	348	11,158	△1,186	9,971

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メデイ カル	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	81,959	15,850	7,860	7,269	5,033	117,973	160	118,133	—	118,133
その他の収益	—	—	—	—	—	—	386	386	—	386
外部顧客への 売上高	81,959	15,850	7,860	7,269	5,033	117,973	547	118,520	—	118,520
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	72	175	267	9	525	447	972	△972	—
計	81,959	15,922	8,036	7,536	5,043	118,498	994	119,493	△972	118,520
セグメント利益	10,659	1,232	1,372	676	543	14,483	400	14,884	△1,312	13,572

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車輛資材……………自動車・鉄道車輛等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及び
サプライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び
販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第3四半期連結累計期間
1,221百万円、当第3四半期連結累計期間1,310百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメン
トに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。